



交通安全宣言(抜粋) 山田恭之さん

交通事故の無い、安全で住みよいふるさとづくりは、町民の心からの願いです。しかし、交通事故は後を絶たず、昨年、県内では46人もの命が交通事故により失われ、その中には私たちと同世代の若者も含まれています。

このような状況の中で、私たち新成人の一人一人が、交通事故を起こさない、また、交通事故に遭わないために、次のことを誓います。

「新成人として自覚と責任を持ち、交通安全を自分自身の問題として捉え、交通ルールを守り、交通マナーの向上に努めます」

「車に乗る時は、必ず全ての座席でシートベルトを着用するとともに、飲酒運転や暴走運転などは絶対に行いません」

「子どもや高齢者、体の不自由な人を交通事故から守るため、思いやりと優しさを持って行動します」

「交通安全の輪を広げ、安全で快適な交通社会の実現に努めます」



誓いの言葉(抜粋) 矢野祝子さん

本日は、成人を迎えた私たちのために、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、式典を開いていただき、誠にありがとうございます。私たちが成人という人生の大きな節目を無事に迎えることができたのも、たくさんの恩師や、地域の皆さま、そして家族に温かく支えていただいとおかげだと、今強く感じています。熊本地震から5年を迎えた今、本日の会場である益城町総合体育館が建て替えられるなど、町の復旧は進み、さらに魅力ある町へと発展しつつあります。

また昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、私たちの生活は一変し、いまだ予断を許さない状況が続いております。

このような世の中ですが、私たちは、互いの絆を深めつつ、成人としての自覚と責任を持ち、社会に貢献できるよう、一歩一歩歩んでいこうと思います。一層のご指導をよろしくお願いいたします。



新成人の皆さん おめでとうございます